

若松の選別機の先進事例研修会を実施しました

令和7年7月2日から3日に、管内の若松生産者5名と佐賀県及び熊本県で選別機に関する先進事例調査を行いました。令和元年度より、普及センターでは若松の選別・調製作業の効率化を推進しています。今回の調査研修はその一環として、佐賀県の花き選別機の製造会社と同社製の選別機を導入している小菊農家の調査を行いました。

選別機の製造会社では、製造中の選別機を見学し、カスタムオーダーの対応事例について理解を深めました。また、参加者のうち、選別機を既に導入している生産者が、不具合の発生しやすい箇所やその改善提案を説明したところ、それについては今後製造する選別機に反映される見込みとなりました。

熊本県の小菊農家では、選別から結束までの一連の工程が自動化された選別機を調査するとともに、必要な作業員数や不具合の回避方法を教えてもらいました。

参加者からは「カスタムオーダーが可能になったので、今後は選別機を使ってさらに効率化を図りたい。注文するときは、自身の選別・調製作業に最適な選別機の仕様をしたい」といった感想が聞かれました。

普及センターでは、今後も若松の作業効率化と経営発展に向けて支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



選別から結束までが自動化された小菊の選別機を調査中